第13号
2005.4.20

れんめい

発行　日本歯科技工士連盟
東京都新宿区市谷左内町21-5
日本歯科技工士会館内
発行人　奥村厚史
編集　日本歯科技工士連盟
発行日　平成17年4月20日（水）

▲3年間の会務協力に謝意を表して

平成十六年度第二回評議員会

次期参議院比例代表選挙に向け全会一致で取り組める体制の確立を!!

日本歯科技工士連盟

日本歯科技工士連盟（会長　中西茂昭）は、去る三月二十日（日）、東京・市谷の日本歯科技工士会館において平成十六年度第二回評議員会を開催した。執行部から提案した議題はすべて賛成多数で可決承認され、任期満了となる現執行部の有終の美を飾った。また、新しい監事は現職の田桑　晋氏（広島）、柴田幸夫氏（長野）の両名が選出された。第二十一回参議院議員選挙対策に関しては、評議員より会員の権利平等の見地から、また、全会一致で臨む体制を確立する必要性から、候補者を公募してはいかがかとの意見が出され、評議員の意向を取り入れる形で進めていくこととなった。

ここで議長は質疑応答に入る旨を議場に告げ、活発な質疑応答が行われた後、第一号議案・第二号議案とも賛成多数で可決承認された（質疑応答要旨別掲）。

議長はその後第三号議案の上程を執行部に求めた。古橋博美理事長より第三号議案、第二十回参議院議員通常選挙特別会計収支決算の承認を求める件が上程された後、質疑応答、採決と続き、同議案も賛成多数で可決承認された。

続いて議長は第四号議案の上程を執行部に求め、古橋理事長より任期満了に伴う監事選任の件が上程された。日本歯科技工士連盟監事は、連盟規約九条により評議員会で選出することとなっており、事前調整により田桑晋現日技連盟監事ならびに柴田幸夫氏（長野）が異議なく選出された。

引き続き議長は協議事項「第二十一回参議院議員通常選挙への対応」について評議員の意見を求めた。評議員からは、評議員会に先立ち開催された候補者選考委員会の報告が求められ、大日向均委員長（秋田）から、組織代表を擁立する方向だが、全会一致の形を取りたいので、もう少し各地区で調整し、再度委員会を開催し候補者を決定するとの委員会報告があった。

評議員からは、会員の権利の平等と公正という意味合いから候補者を公募したうえで選考委員会を開催すべきとの意見がだされ、結果として期限を決め、各地区で適任者がいれば氏名を挙げ、次回選考委員会で審議することとなった。

そのほか、他団体への対応、擁立政党、政治活動資金の交付、未入会者への対応等について協議が行われた。

報告事項としては、組織機構改革検討委員会報告が白岩勝副会長から、通関番号9021―21（義歯）の細目改正に関する財務大臣告示の件が杉井伸行副理事長より、連盟掲示板の作成ならびに連盟ホームページ立ち上げの件が古橋理事長より報告された。

最後に、任期満了に伴う退任の挨拶が執行部を代表して加藤庄二監事より行われ、評議員会は閉会した。

中西会長挨拶

平成十六年度第二回連盟評議員会開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

先ず、「歯科技工所の構造設備基準及び歯科技工所における歯科補てつ物等の作成等及び品質管理指針」が厚生労働省医政局長通知という形で出されますが、この実現には連盟の力が大きく働いております。さらには財務大臣告示による通関番号細目の改正も最終的な段階で連盟の力が非常に有効に働きました。

課題としますます養成制度の高度化に関してですが、救急救命士を除く医療専門職の中で高校卒業後養成期間二年を経て国家試験を受験するという職種は歯科技工士のみとなりました。歯科技工士学校、養成所指定規則を改正することによって一日も早く三年制以上の教育機関にしていかなければなりません。

今もって統一国家試験に関しては検討の段階にあります。実技試験の件で様々な意見が出ているようですが、取り組む姿勢により全く方向性が違ってくるわけで、歯科技工士のレベルアップを図るため全技協の先生方と

もよくご相談申し上げ、その部分の改善も進めていきたいと考えております。

歯科技工士会創立五十周年にあたりまして、自民党の総裁感謝状をいただけることになっております。各県一名プラス本部枠ということで、大臣表彰、会長表彰、そして総裁感謝状という形で五十周年の式典に花を添えていただけるのではないかと思っております。四月以降、各表彰該当者の選考も皆さん方にお願いすることになろうと思いますので、よろしくお願いいたします。

懸案の経済問題です。昨日の日本歯科技工士会役員選挙においてどの候補者も異口同音におっしゃったのは、経済基盤の確立が我々にとって最も緊急の課題であるということです。どうしても改善を図らなければならない。改善を図るにはどうするのかということを本当に真剣に考えていきませんと、悪化の傾向にある歯科技工士の経済を、業界として救うことができないということにもなりかねないと思います。

かつて薬剤師もそうだったでありましょうし、看護師もそうだったと思いますが、医師会の父権主義の下にあったものが、懸命に力を合わせそれを乗り越え、現在、四師会といわれるようなところまで認められているわけでございます。とりわけ看護師出身の法務大臣まで出すような状況になっているというのは、そういった苦しみを乗り越えた結果だと思いますから、その苦しみを乗り越えた時のリーダーの先見性というものを我々は大いに見習うべきところがあるのではないかと感じております。

いずれにしても、これからの三年間がまさに歯科技工士の勝負の三年間になろうかと思います。いろいろな意見もあろうかとは思いますが、一丸となって、我々の力で次世代への大きな扉を開くんだという思いで取り組んでいきたいと考えております。

昨日ご信任をいただきました本会役員の皆さん、そしてこれから決まるであろう連盟役員の皆さん、そして代議員の皆さん方、評議員の皆さん方、本当に一丸となって、明日の歯科技工界のために、今何を成すべきかということを真剣に考えていきたいと思っております。

私も誠に微力ではありますが、まさに身命を賭して頑張っていきたい、そういう思いで今を迎えております。どうぞよろしくお願いいたします。

平成十六年度 第二回評議員会 質疑応答 要旨

第一号・二号議案関係

問　次期参議院選に際して、勤務歯科技工士に対する公約を検討して欲しい。

問　次期参議院議員選挙まで、会員に見える形での政治活動、後援会活動を行なって欲しい。

答　次期執行部において十分検討し、選挙における公約、スローガン、声明などを作成して、目に見える形で活動していきたい。

問　政治活動を行う際、日技連盟より活動資金の交付をお願いしたい。

答　政治資金規正法や公職選挙法に抵触しないような中で、執行部で前向きに検討するよう申し伝える。

問　次期参議院選挙への緊急動議は必ずしも会員の総意ではない。運動員となる会員一人ひとりがやる気の起きるような対応をお願いしたい。

答　日技連盟が次期に候補者を出さないなら、協力して欲しいという団体はあるので、あの時点で意志を表明したことは間違いではないと思っている。今後は全会員が一丸となれる体制作りをしていきたい。

問　擁立が決定し半年経つが、会員にもっとアピールしていって、非会員も巻き込む活動を行わなければならないのでは。

答　候補者が決定しなければ、具体的な後援会活動や政治活動には移ることができない。現時点では、友好団体や支援団体等に次期も挑戦するということに理解を求めている段階。

問　会費の徴収方法に関して、社団法人と政治団体の徴収方法は区別するよう指導を受けたがその対処について伺いたい。

答　組織機構改革検討委員会答申の中で、総合口座で一括徴収することについての改善等が出ているので、その方向で対応したい。

問　国家試験を統一する際は財団の設立が必要と仄聞しているが、そうなると厚生労働大臣免許でなくなるのでは。

答　国家試験を国が実施することは当然であり、所管の大臣が免許を付与することも当然ではないか。そのような活動を展開したい。

問　次期擁立の動議に棄権した十九票についての執行部見解は。

答　動議に対して賛成を留保した十九名の評議員の所属する県に対して理解を求める活動をしていく。

問　歯科技工所の管理制度に関する医政局長通知を、通知で終わらせないよう法的根拠を持たせて欲しい。

答　先ず制定して、実施状況を見ながら法制化していくということで、これからが正念場になろう。

第三号議案関係

問　収入の部の書籍売り上げ、支出の部の書籍刊行費は本会計に計上することが妥当か。

答　選挙ツールとしての考えでやってきたし、印税は全て寄付していただいている。手法の一つである。

問　お金の部分以外で選挙実務にあたられた方の感想をお聞きしたい。

答　初めての経験で、試行錯誤を繰り返しながら、なんとか形をつくろうとやってきた。公費の活用ももう少しうまくできたのではないかと反省している。皆さま方にも本当にご苦労をおかけした。

平成十七年度一般会計収支予算書

平成17年度一般会計収支予算書

（自：平成17年4月1日　至：平成18年3月31日）

収入の部

政治資金収支報告書による収入科目	科目	平成17年度予算額	平成16年度予算額	差異	備考
1．個人の負担する党費又は会費	会費	59,280,000	61,920,000	△ 2,640,000	㊟400×12ヵ月 ×12,350名
2．寄附 (1) 個人からの寄附 (2) 法人その他の団体からの寄附 (3) 政治団体からの寄附					
3．機関紙誌の発行その他の事業による収入					
4．借入金					
5．その他の収入	雑収入	50,000	50,000	0	預金利息他
6．前年度繰越金		29,000,000	28,000,000	1,000,000	
収入合計		88,330,000	89,970,000	△ 1,640,000	

支出の部

政治資金収支報告書による支出科目	科目	平成17年度予算額	平成16年度予算額	差異	備考
2．政治活動費	(1) 組織活動費 交通費	1,100,000	800,000	300,000	都内出張費，交通費
	役員出張費	3,200,000	3,300,000	△ 100,000	地方出張費
	印刷費	1,300,000	1,200,000	100,000	文書封筒等印刷費
	会議費	10,900,000	10,500,000	400,000	評議員会，総務会等
	交際費	1,600,000	2,200,000	△ 600,000	中元，歳暮品代等
	渉外費	2,600,000	4,800,000	△ 2,200,000	対外渉外費
	b．小計	20,700,000	22,800,000	△ 2,100,000	
	(2) 選挙関係費 交通費	100,000	100,000	0	
	役員出張費	300,000	600,000	△ 300,000	
	印刷費	200,000	500,000	△ 300,000	
	会議費	100,000	300,000	△ 200,000	
	通信費	100,000	100,000	0	
	陣中見舞	200,000	300,000	△ 100,000	
	c．小計	1,000,000	1,900,000	△ 900,000	
	(3) 機関紙誌の発行その他の事業費				
	ア．機関紙誌の発行事業費 広報費	3,200,000	3,500,000	△ 300,000	機関紙『れんめい』等
	イ．宣伝事業費				
	ウ．その他の事業費				
	(4) 調査研究費 調査費	600,000	600,000	0	資料・書籍購入費等
	(5) 寄附・交付金 寄附金	10,500,000	19,000,000	△ 8,500,000	寄附・会費等
	交付金	5,000,000	5,000,000	0	地元活動費等
	(6) その他の経費 時局対策積立金	20,000,000	10,000,000	10,000,000	時局対策積立
	雑費	300,000	200,000	100,000	諸雑費
	予備費	16,930,000	17,270,000	△ 340,000	
	d．小計	56,530,000	55,570,000	960,000	
合計	小計 a+b+c+d	88,330,000	89,970,000	△ 1,640,000	

支出の部

政治資金収支報告書による支出科目	科目	平成17年度予算額	平成16年度予算額	差異	備考
1．経常経費	(1) 人件費 給料	100,000	100,000	0	アルバイト料
	(2) 光熱水費 光熱費	50,000	50,000	0	光熱費
	(3) 備品・消耗品費 事務用品費	150,000	150,000	0	文具費等
	(4) 事務所費 通信費	8,800,000	8,400,000	400,000	役員通信費，郵送料等
	賃借料	1,000,000	1,000,000	0	事務室借用料
	a．小計	10,100,000	9,700,000	400,000	

http://www.nichigi-renmei.jp/

●日本歯科技工士連盟●
ホームページ開設のお知らせ

日本歯科技工士連盟では4月1日より独自のホームページをアップいたしました。
会員の皆様の御意見、御希望等をお寄せ下さい。

●ホームページアドレス●
http://www.nichigi-renmei.jp/

日本歯科技工士連盟 新役員の顔ぶれ

■中西　茂昭　会長（大　阪）

■保田　義雄　副会長 統括（和歌山）

■宮野　亮三　副会長 渉外（千　葉）

■橋本　賢作　副会長 渉外（高　知）

■古橋　博美　理事長 総括（静　岡）

■杉井　伸行　副理事長 総務（埼　玉）

■国府田知生　副理事長 財務（東　京）

■野島　正美　副理事長 企画（埼　玉）

■和田　章　常任総務 調査（東　京）

■奥村　厚史　常任総務 広報（北海道）

■室井　鑌司　常任総務 組織（福　島）

■大西　清支　常任総務 技工所経営（三　重）

■村松　仁志　常任総務 選対（神奈川）

■宅見　満　総務 調査（兵　庫）

■後藤　久幸　総務 企画（大　分）

■菅　八郎　総務 広報（東　京）

■小村　純二　総務 組織（島　根）

■黒田　文彦　総務 技工所経営（富　山）

■藤原　俊彰　総務 選対（大　阪）

■田桑　晋　監事（広　島）

■柴田　幸夫　監事（長　野）

■平尾　豊　相談役（岐　阜）